

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日（12:00～12:30）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	9人	2人	2人	13人

前回の改善計画

新規相談からのマネジメントの内容に関わる職員を増やし（現状は管理者とケアマネがマネジメントし、伝えている）、マネジメントの理解につなげる（常勤職員から）

前回の改善計画に対する取組み結果

新規相談のタイミングで、常勤職員と事前訪問にいたり、相談経緯を申し送ったり、訪問手順を考えてもらうことはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	11	1	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	11	2	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	11	2	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	6	7	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・情報のある時やご利用するタイミングや状況によっては丁寧にできた
- ・他事業所や病院からの情報提供には目を通せる状況を作った
- ・本人やご家族、関わった他の職員から聞き取りをして情報収集している
- ・本人に聞き取りながら、安心して利用できるように努めている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・時間がない時や情報の少ない時はそのままになっていることがある
- ・情報が漏れていたり、形だけの確認になっていたりすることがある
- ・情報発信が十分ではない時がある

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・引き続き新規相談からのマネジメントの内容に関わる職員を増やす（常勤職員から）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30):

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	1人	1人	13人

前回の改善計画
記録のタグ付けを引き続き行い、ミーティングのみではなくミニカンファやカンファレンス時にも活用し、具体的な支援につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果
記録のタグ付けはできていないことが多く、状況の記録のみになることが多い。記録の意味や必要性について、チームで確認していきたい

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	11	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	13	0	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	13	0	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	7	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者のしたいことを申し送りながら、実践することができた ・他の職員の聞き取り方や支援方法を参考にしている ・ケアプランに記入して実現できるように実践している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・気づいていたり、聞いたことを発信できていないことがある ・職員によってご利用者の発信も異なる ・ご利用者によって違いがあり、ただ、したいことを実現するだけでも支援につながらないことがある ・通いの過ごし方や日々の過ごし方はご本人の要求なのか必要なことなのかの判断が難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・通いの場面で、ご本人たちからリクエストの多いレクリエーション活動を提案する(運動の取り入れ)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	0人	3人	13人

前回の改善計画
記録のタグ付けを引き続き行い、ミーティングのみではなくミニカンファやカンファレンス時にも活用し、具体的な支援につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果
記録のタグ付けはできていないことが多く、状況の記録のみになることが多い。記録の意味や必要性について、チームで確認していきたい

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	12	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	3	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	11	2	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	6	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	10	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の様子や動きを観察しながら支援することができた ・不安定な方や変化の多い方については、口頭の申し送り等を使いチームで共有できた ・時間を調整したり、ご本人に説明したりしてご本人に合わせて支援している ・個別に聞き取りを行い、個別対応ができるように支援している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自分の工夫できた点や良かった支援を発信できていない ・ご利用者の人数に対応するだけの時もあった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご利用者とのコミュニケーションを増やすために職員は記録する際、ご利用者のそばで行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	0人	11人	13人

前回の改善計画	フェイスシート等もデータ入力が可能なので、関係性を含めてまずは記録に残していく
前回の改善計画に対する取組み結果	情報に目を通してはいるが、データ入力までは都度にできていなかった。関係性が途切れていることも多かった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	0	11	2	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	11	2	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	11	2	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	7	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご本人や家族、知人に声をかけたり、相談したり、確認するようにしている・ご本人の様子をみながら理解できるように努めている・支援に必要な時に、連絡をしたり相談したり関係づくりに努めている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域資源を十分に理解していない・地域にどのような支援があるのか理解できていない・本人にご家族や地域との関係の希望をたずねることが少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・職員と、フォーマル資源の理解を深めていく(まずは介護保険内のフォーマル資源を理解する)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	12人	0人	0人	13人

前回の改善計画	ミーティングで共有する事例を振り返り、どのように支援できたかチームで共有していく
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングでの共有は新規事例や事故が多かった。支援についての振り返りは不十分だったが、事例としての共有はできた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	10	1	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	7	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	11	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">他の職員の支援方法等を相談したり、まねたりしているその時に必要な支援については提供できるようにしているご利用者の変化については、都度に口頭等で共有している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">相談する相手がいない時にはどう判断していいか迷う時がある過度な支援があるときがあった時間がない時に支援が後回しになることがあった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">ご利用者のタイミングに合わせた支援が提供できるように、職員はご利用者のそばで過ごすこと意識する(記録時等)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

6. 連携・協働

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	2人	2人	13人

前回の改善計画
事業所が今関係を持てている地域資源と引き続きつながっていけるように運営推進会議を活用していく
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議をご利用者と継続してできた。また、ミーティングでも職員と共有することができた。今年度は集合会議も開催でき事業所の雰囲気に参加者に感じてもらうことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7	6	0	0	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	7	6	0	0	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	6	0	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	6	0	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・隣の発達支援ルームととてとは交流があり、子供たちと交流が持てたりたずねたりしている ・認知症カフェ『ひまわり喫茶』を実施できた。地域の方やご家族等事業所に訪ねてくれた ・自治体や包括支援センターの開催している研修等に管理者・CM・職員が参加している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍の為開催自体が多くないので、参加できるタイミングが限られている ・運営推進会議は参加はできていないので、内容を理解するまでになっている	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・認知症カフェをコロナ禍でも開催できるように工夫し、実践する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

7. 運営

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	13人	0人	0人	13人

前回の改善計画

引き続き、苦情や要望、意見は書面やデータに残し、ミーティングや運営推進会議、人事考課等で共有し展開させていく

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議にて、ご利用者から意見をいただけることが増えて、日常の中でも要望を言ってもらえるようになってきている。また、発信しあうことで引き続き言いやすい雰囲気を作っていきたい

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	11	0	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	1	12	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	10	3	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 職員同士で声をかけあって意見を引き出してもらっている
- ご利用者、ご家族からの意見がもらえるように定期的に連絡している

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域の方からのご意見は具体的に聞き取りにくい

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 運営推進会議や認知症カフェ等で地域の方からも意見がもらえるような議案を提供する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	0人	0人	13人

前回の改善計画	引き続きミーティングにて、事故やヒヤリ、クレームの振り返りをおこなう
前回の改善計画に対する取組み結果	事故やヒヤリの共有、事例によっては振り返りをおこなうことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	0	6	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	11	2	0	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	0	6	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・退院後の方は状況も違うため、今まで以上の説明や同意、様子の変化に気を付けている ・研修参加後はミーティングで共有したり、研修ノート・資料を共有したりしている ・ミーティングでDVD研修をおこなったり、個別に口頭で研修したりと職員全員が研修できるようにしている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用者同士の関係づくりについて、取り組みが不十分で、雰囲気が良くないことがあった ・コロナ禍の影響や業務の都合で、予定していた研修に参加できないことがあった
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・DVD学習やコロナ禍でも参加できる研修の受講を検討する
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月19日(12:00~12:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上野・朝日・池内・伊藤・山中・玉井・久保田・村上・三井・永井・藤永・近藤・木下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画	引き続きミーティングにて、事故やヒヤリ、クレームの振り返りをおこなう
前回の改善計画に対する取組み結果	事故やヒヤリの共有、事例によっては振り返りをおこなうことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	0	0	13
③	プライバシーが守られている	13	0	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	10	1	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13	0	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 尊重することやプライバシーを守ることは意識してとりくんでいる ・ 成年後見制度を活用できた ・ ミーティングにて不適切なケアについて、一ヶ月の振り返りをする事ができた
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 成年後見制度について理解が十分ではない職員もいる
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ 成年後見制度の勉強会をおこなう(2023年5月ミーティングを予定)
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4	0	4
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	0	5
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5	0	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3	0	5

【上記4つのチェック項目に関する意見】

説明してくれても、わかりにくいことも多いので何とも言えない
職員さんは、みんなよくやっていると思う

【前回の改善計画に対して意見】

実践するだけでもいろんなことがあって大変だと思った
いろんなことを相談してもらっていると思う。特に意見はない

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

具体的になっていると思う

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

事業所のことは説明してもらってもわかりにくいことやイメージしにくいことが多い
新聞の写真でいろんなことに取り組んでいることはわかる

【改善計画】※後日記入

職員と共にサービス評価に取り組むために、二ヵ月ごとにサービス評価の計画実施の担当を決めて、具体的な実施を管理者と共に行う

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	1	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

大きい声で話す時があって、うるさいとすることがある
臭いは気になったことはない
初めから入りにくいかはなかったけど、人によっては感じる人もおるかもしれない

【前回の改善計画】

- ・掃除や整理整頓がしやすい環境をつくる（整理棚の活用等）
- ・ご利用者、一人一人が通い場面で居心地が良い環境となるように、ご利用者と過ごし方を含めた過ごし方について意見交換を行う

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

居心地よくしてくれている。横になれる部屋もあるので安心。

【今回の改善計画】※後日記入

ご利用者、一人一人が通い場面で居心地が良い環境となるように、ご利用者と過ごし方を含めた過ごし方について意見交換を行う

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	1	0
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	0	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶はいつもしてくれている。帰る時もしてくれている
- ・自分の周りの人は、どっかに行ってることは知っているが、ここえのことは知らないかもしれない
- ・なんでも相談している

【前回の改善計画】

活動報告書を作成し、ご利用者と一緒に配布する機会を作り、ご利用者が社会資源とつながっていく機会をつくる

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

配布に行くなら一緒に行くよ

【改善計画】※後日記入

活動報告書をご利用者と一緒に配布する

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ここはいつでも外に行ける。黙っていったらいけん。ちゃんと職員さんに言っていかなと。
- ・いろんなことをしてくれるから面白いよ。ここにきたらだれかがおるのが安心する

【前回の改善計画】

ご利用者の日々の過ごし方を見直し、訪問時に必要なことや地域でご利用者が暮らすことを支援できるようにアセスメントを行う

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・連れてってくれるならいろんなところに行ってみたい
- ・職員さんも忙しそうなけん、外に行こうと思っても難しそう

【改善計画】※後日記入

自宅で過ごせる時間が少しでもできるように、ご利用者の日々の過ごし方を確認したり、提案したりしながら一緒に考えていく

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	0	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・写真を貼ってくれたり、教えてくれたりするからここでしていることは何となく知っている

【前回の改善計画】

運営推進会議で出た意見について、ミーティングでの周知と共に職員とも改善を考え、運営推進会議で発信し、運営推進会議とミーティングの意見の循環がおこなえるようにする

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・会議に参加するのは、嫌ではないけど、意見は特にはない

【改善計画】※後日記入

運営推進会議で出た意見について、ミーティングでの周知と共に職員とも改善を考え、運営推進会議で発信し、運営推進会議とミーティングの意見の循環がおこなえるようにする

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	2	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	3	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7	0	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	1	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 訓練があるときは説明してくれるから参加している
- ・ 自宅で災害が起こったときはその時と思っている
- ・ 地域の防災訓練はしているのは知っているけど参加していない

【前回の改善計画】

年間の会議計画の中に防災計画を議案として計画し、避難訓練の振り返りや次年度の訓練予定、地域の方やご利用者・ご家族へ引き続き計画の発信をおこなう

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・ 災害は来たらその時のことと思っている

【改善計画】※後日記入

- ・ 9月の運営推進会議時に防災計画を報告する

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)クロス・サービス	代表者	岡部 純二	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな住宅街に立地しており、近くには公園もあります。 ・発達支援ルームととてが隣接しており、子供達との交流をはかります。 ・お食事は三食手作り。暖かく楽しい食事時間を提供します。
事業所名	小規模多機能ホーム ここえ	管理者	上野 睦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	2人	人	1人	2人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員と共にサービス評価に取り組むために、二ヵ月ごとにサービス評価の計画実施の担当を決めて、具体的な実施を管理者と共に行う	意見交換はできたが、実践は管理者がすることが多かった。来年度も引き続き意識していくためにも実践していきたい	具体的な計画になっていると思う。特に意見はない	職員と共にサービス評価に取り組むために、二ヵ月ごとにサービス評価の計画実施の担当を決めて、具体的な実施を管理者と共に行う
B. 事業所のしつらえ・環境	・掃除や整理整頓ができやすい環境をつくる（整理棚の活用等） ・ご利用者、一人一人が通い場面で居心地が良い環境となるように、ご利用者と過ごし方を含めた過ごし方について意見交換を行う	環境づくりは相談しながら実施できた。今後ご利用者が使いやすい、過ごしやすい環境にしていけるためにも意見交換を重ねていく	大きい声で話す時があって、音とかが気になるときはある。居心地よく考えてくれている。横になれる部屋もあるので安心している	ご利用者、一人一人が通い場面で居心地が良い環境となるように、ご利用者と過ごし方を含めた過ごし方について意見交換を行う
C. 事業所と地域のかかわり	活動報告書を作成し、ご利用者と一緒に配布する機会を作り、ご利用者が社会資源とつながっていく機会をつくる	配布することはできたが、ご利用者と一緒に行くことはできなかった	配布するなら一緒にいくよ	活動報告書をご利用者と一緒に配布する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の日々の過ごし方を見直し、訪問時に必要なことや地域でご利用者が暮らすことを支援できるようにアセスメントを行う	前年度より自宅で過ごす方が増えた。自宅で退屈しているという意見もあったので、今後は自宅でどのように過ごすのかも一緒に考えていきたい	連れてってくれるならいろんなところに行ってみたい。ここに来たら誰かがおるのが安心	自宅で過ごせる時間が少しでもできるように、ご利用者の日々の過ごし方を確認したり、提案したりしながら一緒に考えていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見について、ミーティングでの周知と共に職員とも改善を考え、運営推進会議で発信し、運営推進会議とミーティングの意見の循環がおこなえるようにする	議事録の発信や確認はできたが、意見の循環までには至らなかった。会議計画を作成し、意見の循環ができるように取り組んでいく	会議の参加は嫌ではないけど意見は特はない	運営推進会議で出た意見について、ミーティングでの周知と共に職員とも改善を考え、運営推進会議で発信し、運営推進会議とミーティングの意見の循環がおこなえるようにする
F. 事業所の防災・災害対策	年間の会議計画の中に防災計画を議案として計画し、避難訓練の振り返りや次年度の訓練予定、地域の方やご利用者・ご家族へ引き続き計画の発信をおこなう	防災計画を発信することはできなかった。活動報告書に訓練の様子を発信することはできた	訓練があるときは参加している	9月の運営推進会議時に防災計画を報告する